

令和5年10月4日

議会議長 田 口 彰 一 様

文教厚生委員会
副委員長 岩 城 仁

閉会中における所管事務調査についての報告

函南町議会会議規則第77条の規定により、次のとおり報告いたします。

記

- 1 開催日時 令和5年7月18日（火）午前9時00分
- 2 委員の出席状況 委員全員出席
- 3 調査事項

(1) シルバー人材センターの現状について

シルバー人材センターは、高齢者が働くことを通じて生きがいを得るとともに、地域社会の活性化に貢献する組織として市区町村単位に設置されており、函南町においても昭和61年に設立され、様々な事業が展開されている。しかし近年では、定年の引き上げや高齢者の生きがい活動の多様化等により、会員数の減少や会員の高齢化が進んでいる。

令和2年度より5年間を計画期間とする中期事業計画の基本目標に対し、会員数や就業延べ人数は目標値の達成が難しい状況にあるため、本年度は新たな取り組みとして、新規会員の加入促進、高齢者の社会参加の機会の確保のため、ジョブステーション、町との協働による就業相談会の開催が企画されている。また、仕事の受注を増やすため民間事業所への訪問活動が継続して行われており、派遣事業の拡大に努められているが、新型コロナウイルス感染症の影響等により派遣先を増やすことが難しい状況にあるため、町の役務の提供等についても改めて検討が求められる。

本年度はインボイス制度への対応や、西部コミュニティセンターへの事務所の移転が行われる。シルバー人材センターに係る環境や状況の変化に適切に対応し、高齢者の就労支援に引き続き努められたい。

(2) 国民健康保険の現状について

国民健康保険加入世帯、被保険者数は、様々な要因により年々減少しており、それに伴い療養給付費等の合計額も緩やかな減少傾向にあるが、1世帯及び1人当たりの医療費は年々増加している。これは、状態が悪化してから受診する傾向にあることや、医療技術の高度化により医療費が高額になっていること等が要因とされている。

町では、医療機関受診の適正化や、病気を未然に防ぐ、重症化させないための施策の実施が医療費の抑制に効果的であると考え、保健事業の推進に取り組んでいる。健診勧奨ハガキの送付や、集団検診の回数等を工夫した特定健診を受けやすい環境づくりを進めるほか、水中運動教室や出前健康講座等の健康増進に繋がる事業が行われている。また本年度は、データ分析を活用し効果的・効率的に保健事業を実施するための第3期データヘルス計画と、第4期特定健康診査等実施計画の策定を進めている。

町民の健康増進及び国民健康保険の将来にわたる健全で安定した財政運用が図られるよう努められたい。

(3) 待機児童の解消に向けた取組について（現地視察含む）

函南町内の待機児童数の解消に向け、令和5年4月1日に「はなみずき保育園」が開所し、60名分の保育定員が確保された。今後も保育需要の高い状況が続くことが考えられるため、本年度は函南町教育・保育施設整備方針策定業務を実施しており、現状分析と課題整理により、教育・保育施設の将来的な整備方針の検討が進められる。

開所した「はなみずき保育園」の現地視察では、セキュリティ対策や、園児のための施設内の安全面のこだわり、教育方針等について説明を受け、細やかな配慮の行き届いた園の運営について確認をすることが出来た。